



鹿島中学校だより 卯月
和・輪・我 4月
 平成21年4月発行
 薩摩川内市立鹿島中学校

がんばれ「34の瞳」

校長 河野 通芳

香川県小豆島出身の壺井栄が自身の境遇と家族の教師体験を重ね合わせて小説にした「24の瞳」は、学校を舞台とした文学作品として有名です。原作は昭和26年に発表されて以来、多くの子どもたちに愛読されてきました。何度も映画化・TVドラマ化されているので、そちらでご存じの方も多いでしょう。

師範学校を卒業したばかりの大石先生（「おなご先生」）は、岬の分教場に赴任し、そこに入学した12人の児童は、すぐに先生になつき、人気者になった。「ハイカラ」を理由に、村人から敬遠されたこともあったが、落とし穴に落ちアキレス腱を断裂し分教場を去った「おなご先生」を慕う子供たちの必死の働きかけもあり、子どもたちにとってかけがえのない存在であることを村人も知ることとなった。5年後本校に通うようになった子どもたちは、先生と再会した。やがて始まった戦争は子どもたちと先生の運命を翻弄し、夫を戦争で失い、再び教壇に復帰した先生と再会できたのは7人で、残りは戦死や病死、行方不明になったり、戦争で失明したものもいた・・・というようなあらすじでした。子どもと先生の絆の深さを描く中に、戦争の悲惨さと人間に与える傷の深さを感じさせる作品です。この機会に生徒にも読んでもらいたいです。



小中一貫加わが-を囲んで

「24の瞳」は小豆島を一躍全国区にただけでなく、これ以降少ない生徒数で、活躍する学校や部活を「○○の瞳」と呼び賞賛することが定着したと思います。

今年の鹿島中は、昨年度より生徒が大幅に増えたとはいえ、全校生徒17名、鹿島育ちの生徒が半数を割ることもなりました。しかし、数の少なさや出身の違いをプラスに変えそれぞれの個性を生かした、元気あふれる鹿島中を作っていきたいと思えます。新たに若くて元気な「おとこ先生」「おなご先生」「教頭先生」も加わりました。小中一貫教育元年にスタートを切る鹿島の生徒たちに応援をよろしくお願ひします。がんばれ「34の瞳」！

4月の生活努力目標

一事徹底事項「鹿島中学生としての自覚及び新学年の自覚をもとう」

- ・自分なりの目標の自己評価(シナリオとのリンク)
- ・授業の初め・終わりのあいさつの徹底

第62回入学式



新入生8名を囲んでの記念撮影



4月6日(月)保護者、小学生、小学校職員、地域の方等、本当にたくさんの来賓を迎え、第62回入学式が行われました。今年度は8名の新入生を迎えることができました。新入生8名はやや緊張の表情ではありましたが、堂々とした姿を見て、頼もしさを感じることができました。

学級PTA・PTA 総会開催

4月15日(水)授業参観・PTA 総会を開催しました。授業参観では、担任による授業(1年数学、2年理科、3年社会)を参観していただきました。それぞれの授業はいつも以上に力が入っていたようです。授業参観後、PTA 総会を引き続き行いました。総会では、平成21年度のPTA 役員改選・活動計画及びPTA 準会員制の導入について協議を行いました。各役員につきましては、協議の結果以下のとおりとなりました。

【平成21年度PTA 役員】

- PTA 会長 中野さん
- PTA 副会長 塩釜さん
- 会計監査員 雨宮さん 梶原さん



和やかな学年PTA

- 研修部 部長：塩釜さん 副部長：中野さん
- 事業部 部長：小村さん 副部長：梶原さん
- 学級評議委員 1年：梶原さん
- 2年：雨宮さん
- 3年：中野さん

写真で振り返る 34の瞳



左,右下:昨年度から栽培のタマネギ収穫
 左下:生徒会主催の歓迎レクリエーション
 左最下:いじめ問題を考える週間の取組
 右最下:緑化活動



新任教職員の紹介

- 教頭：松久保鉄也
- 音楽：泊 さおり
- 体育：永山 拓志
- 英語：春畑 摩衣
- 国語：前村加奈子
- 主事：苑川より子



5月の行事予定

- 1日(金)：開校記念マラソン大会
- 11日(月)：天草採り(小中一貫)
- 15日(金)：中間テスト(18日)、第2回夜回り
- 25日(月)：小中一貫教育研究会(小中合同)
- 26日(火)：教育相談(~4日)
- 27日(水)：歯科検診
- 28日(木)：避難訓練(地震)

